

謝罪拒否、臨の本数は秘密裡、休日出勤は業務命令 一方的休日出勤は許さないぞ！

「新幹線乗務員の休日勤務指定」に関する業務委員会開催

本部は11月16日、9月26日に提出した「新幹線乗務員の休日勤務指定」に関する申し入れ（『申第19号』）の業務委員会を開催しました。

年度初の要員計画の業務委員会において会社は、「新幹線乗務員の休日出勤は0～1泊」と説明しました。しかし会社は9月13日、突然「お知らせ」で休日出勤をやることを宣告しました。職場では、不平・不満が渦巻いています。JR東海労は、このような職場で苦勞している社員の切実な意見を会社にぶつけてきましたが、全てにおいて対立でした。

謝罪拒否

本部は、「まずは社員に謝罪をするべきだ」と訴えました。しかし会社は、需給を見誤ったことは認めましたが、説明をしたことを以て謝罪を拒否しました。

臨時列車の本数は明らかにしない

休日出勤が発生した原因で会社は、「好調な利用状況により、臨時列車を増発した」と言いました。もともと時刻表には臨時列車と運転日が掲載されています。これは、需要計画や要員計画が立ててあるということです。本部は、時刻表の記載されていない臨時列車を含め、臨時列車の本数を明らかにするように求めましたが、会社は拒否しました。

休日出勤は命令するものではなく頼むもの

JR東海労は、休日出勤一般を否定していません。会社は、本人の都合も聞かず、有無を言わず業務命令で休日出勤を強制したため、問題にしているのです。社員は年間休日120日の権利があります。本部は、休日出勤を指定するなら本人の了承を取ることと主張しました。しかし会社は、「業務として指示をしている。断ることはできない」と基本協約を拡大解釈し、意地でも「命令と服従」を押し付けています。

皆さん、一方的休日出勤解消に向け闘いましょう！